

## 火災抑制剤放射器

# Quick Splasher / クイックスプラッシャー 製品紹介資料



ガソリン  
事故対策に  
必須ね



ご用命は是非 ALSOK京滋(株)へ

# はじめに

いままで世の中には作為の火災（放火テロ）に対して有効な手段がありませんでした。

放火テロに要されるガソリンや灯油など燃焼性が高く、一度着火すると消火するのが難しく、多くの煙を出すため安全な避難を困難にします。

その為、当社では着火時前の瞬時に対応し、火災の抑制と避難路を確保するための製品開発を企画しました。



作為の火災には  
(放火テロ)  
無防備な状態

着火された後の  
消火対応では  
対処困難

着火前の瞬時対応  
と避難路の確保  
が重要！

# Quick Splasher／クイックスプラッシャーのご紹介

火災抑制剤放射器Quick Splasher／クイックスプラッシャーはガソリンや灯油などを用いた放火テロに対して、火災抑制剤を短時間で広範囲へ均一に噴射することで、着火を抑制し、避難路の確保補助する製品です。

本製品はガソリンや灯油など揮発性のある石化類の表面を覆う（水成膜）効果および防災効果を高めた特殊な薬剤を、短時間で広範囲へ均一に泡状にして噴射するための特殊な機構を新たに開発しました。（特許出願中）

このため、石油や軽油などを散布し放火される前に本製品で薬剤を放射することで着火を抑制することが出来ます。  
また、放火された後においても短時間に薬剤を放射することが可能であるため火災の抑制、避難路の確保が期待出来ます。

本製品を設置することで、放火テロ行為自体を抑止する効果を期待しています。



水成膜効果・防災効果

短時間

広範囲

安全放射

# Quick Splasher／クイックスプラッシャーのご紹介

本製品は、水成膜泡消火薬剤を基とした薬剤を使用しています。

水成膜泡消火薬剤とは、特殊フッ素系界面活性剤を基材とする泡消火薬剤で、油面上に薄い水の膜（水成膜）が形成され、窒息および冷却効果により消火を行なう薬剤です。

この薬剤をベースに、以下のような効果を高めた薬剤を開発し、本製品に採用しております。

## 水成膜効果

本製品を放射すると、油面上に泡が散布され、泡から生成される特殊な水の膜（水成膜）が油面を覆うことにより、油から可燃性ガスが拡散されず、着火や燃焼を抑制する事が可能です。

また、フッ素系界面活性剤の効果により、油面上の展開性が早く、瞬時に泡や水成膜で覆うことが可能です。

## 防炎効果

本製品の薬剤には、防炎剤として、特殊リン酸化合物も配合されています。

特殊リン酸化合物の作用により、油以外にも、木材や紙類、衣類などの一般的な可燃物に対し、着火や燃焼を継続させにくくする防炎効果が発揮されます。

# Quick Splasher／クイックスプラッシャーのご紹介

## 消火器との違い

### 消火器

- ・消火（火を消すこと）を目的とした製品
- ・放射時間が約19秒（当社製ABC粉末10型消火器）
- ・一般的な消火器の薬剤は粉末もしくは強化液が多い
  - 粉末：負触媒効果
  - 強化液：冷却効果、負触媒効果
- ・消火後の持続効果はない（放射後に火を付ければ着火）



### クイックスプラッシャー

- ・放火テロ対策として、火災を抑制することを目的とした製品
- ・放射時間が約2秒
- ・特殊水成膜泡消火薬剤や特殊防炎剤をベースにした薬剤
  - 水性膜効果：窒息効果、冷却効果
  - 防炎効果：負触媒効果
- ・放射後も薬剤の着火防止効果が持続される



# 使用シーン

## 着火防止（火をつけられる前に放射）

ガソリン等の液体可燃物を散布された際、着火前に本製品を使用することにより、着火を防ぐことが可能です。



【0:00:00】



【0:00:16】



【0:00:25】



【0:01:00】

## 拡大防止（火をつけられた後に放射）

ガソリン等の液体可燃物を散布され、火災となった際に本製品を使用することにより、短時間で自力避難が可能な状態まで抑制させます。



【0:00:00】



【0:00:16】



【0:00:21】



【0:00:26】

# 製品概要

※本製品は、国家検定品の「消火器」では御座いません。

手提げ式

重量：約5kg

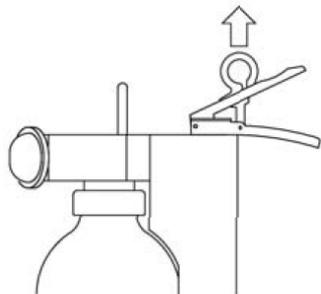
薬剂量：2.5L

放射範囲：約10m<sup>2</sup>(6畳)

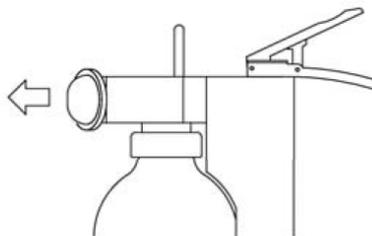
放射時間：約2秒



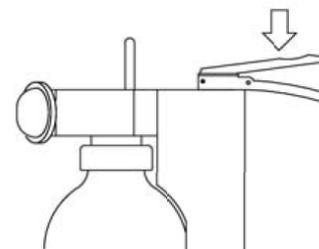
①安全栓を上引き抜く



②2つのノズルの中央を  
ねらう方向に向ける



③レバーを強く握る

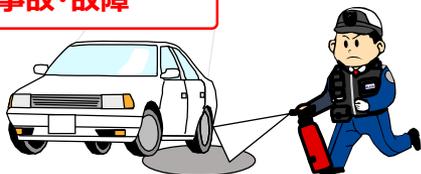


- ◆ 散布された液体可燃物からおよそ1m離れてから放射を開始してください。
- ◆ 放射の際は利き手でレバーをにぎり、吊りハンドルをもって本製品をしっかりと保持してください。
- ◆ おおむね胸の高さぐらいに持ち上げ、放射してください。
- ◆ なるべく垂直を保持して操作してください。30°以上傾けると有効に放射できない場合があります。
- ◆ レバーは強く握ってください。

# 放火テロ以外での使用用途

## 燃料漏れ

### 事故・故障



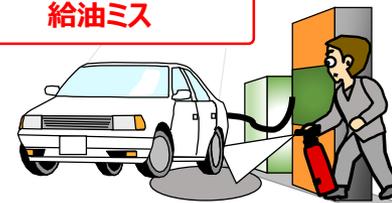
▶漏れた燃料に噴射して着火・炎上を抑制する。

### 老朽化



▶漏れた燃料に噴射して着火・炎上を抑制する。

### 給油ミス



▶吹きこぼれた燃料に噴射して着火・炎上を抑制する。

### 販売ターゲット

道路／高速道路／トンネル

- ・かけつけサービス
- ・ロードサービス業者
- ・自治体、NEXCO等

### 販売ターゲット

一般人が燃料を扱う施設

- ・ビニールハウスの暖房設備
- ・農業機械
- ・セルフガソリンスタンド
- ・建設機械（重機、発電機）
- ・家庭用オイルタンク
- ・灯油スタンド

## 延焼抑制（初期火災時）

▶火災発生時に可燃物に噴射して延焼を抑制する。

## その他

### 販売ターゲット

延焼で避難が困難になる施設

- ・倉庫
- ・工場
- ・病院
- ・福祉施設

